### 【ば】

N／Na　なら（ば）　A－ければ　V－ばののひとつで、をす。のをすなで「たら」「と」「なら」とになるをもつ。　、ナにくは、「は」がされ「N／Naなら」となることがい。「N／Naであれば」はそのかたいきことばない。の「N／Naでなければ」は、きことばでもしことばでもわれる。イの「いい」は「いければ」ではなくず「よければ」のでいられる。「ば」は「たら」とじようにわれることがいが、きことばでは「ば」、しことばでは「たら」がわれるがある。くだけたしことばでは、の「＋eba」が「＋ya」（：あれば⇾ありゃ、けば⇾きゃ、めば⇾みゃ、なければ⇾なけりゃ）となったり、「A－ければ」が「A－きゃ」（：なければ⇾なきゃ）となることがある。1　…ば＜＞　…ば　N／Na　だ　…ばA－い　…ばV－る①がればがく。②10を2でれば5になる。③がづけばががる。④をとればがくなる。⑤がすればがする。⑥というものは、なをちけばついいたくなるものだ。⑦じていればはかなうものだ。⑧だれでもほめられればうれしい。⑨がふけばがもうかる。⑩がきゃは。⑪わりよければすべてよし。のやものごとではなく、ものごとについてのをべるで、「XがすればずYがする」というをす。のにかかわらずにりつ、なやをし、はいつもがいられる。なやなきりのをにするのではなく、「Xがしたには、Yになる」「にそうなる」「にそうだ」というにわれる。　はされないことがいが、されるは「はだれでも」「Nというものは」のように、あるにするものがりげられ、それについてべるになる。⑥⑦のように、にそのようなをもっているというの「ものだ」をうこともい。⑨～⑪のように、ことわざやなどにもよくわれる。2　…ぱ＜反復・習慣＞あるのやについて、「XがするとそのにYがする」「XをうとまってYをう」というりしわれるやをす。1の＜＞とのいは、＜＞は、のについてをしてりつことがらをべるもので、にはずがわれるのにし、このはだけでなくタもいることができるである。ののやをべるようなにわれる。a　…ば…V－る①はがよければをします。②はさえあればいつもテレビをている。③はのをれば「しろ」とう。④のポチはのをればとんでくる。にをすのがいられ、のののやをす。b　…ば…V－た①のころは、がよければ、よくとこのをしたものだ。②のころはさえあればおをんでとりかしたものだ。③はへけばずおをってきてくれた。④20ほどには、からしれれば、いくらでもがっていた。「にはいつも／ずそうした」「そうすればずそうだった」といったのののや、ののでずしたことがらなどをす。①②のようにをす「V－たものだ」をうこともある。　「…ば…V－た」のとしては、にしたことがらをべる4の＜＞のがあるが、これと＜・＞ののいは、はにしたをべるものだというである。なお、のをべるは「たら」にもあるが、「ば」がにりしわれたやののでいつもしたをすのにして、「たら」は、にだけしたをす。（）1。ビールを2めばっぱらいました。（）2。ビールを2んだらっぱらいました。（1）は「2めばず／いつもっぱらった」という、にりしこったをすのにし、（2）は「たまたま2んだらっぱらった」という、にこったをす。3　…ば＜仮定条件＞の・について「XがりてばYがりつ」というをす。Xはのと、すでにしているがあるが、Yはにのことがらをす。　1の＜＞がものごとについてべるもので、にはずいりのをいるのにし、＜＞は＜＞をのなことがらにてはめてにべるので、に「だろう」「かもしれない」などをけることができる。（）＜＞をらせばでもやせる。（）＜＞をらせばあなたもやせるだろう。Yにはのことがらをべてるや、やなどの「・きかけ」のがいられる。a　…ば＋未実現のことがら①もしがのなら、やっぱりじようにえるだろう。②もしがければ、はになるかもしれない。③をすればかるでしょう。④こんなにければ、きっとたくさんれるとう。⑤それだけがよければ、どのにでもできるはずです。⑥ふだんかながめずらしく、もしていた。あれだけられれば、もしはするにちがいない。のやについて「XがりてばYがりつだろう」というをす。Yはのことがらをし、には「だろう」「にちがいない」「はずだ」「かもしれない」や「う」など、やのをうことがい。　①～③は、のXをして、そのようなにりつはずのYをするい。④～⑥は、Xがすでにしていることがらをすで、「このようながしているのであれば、Yがりつだろう」という。　しがYのについてかなりをもっているようなには、のように、がのいりでわるもある。⑦がければになります。⑧うっかりミスさえしなければずできますよ。⑨のをらしてをすれば、2、3キロぐらいはすぐりますよ。⑩A：がくなってきたよ。B：それだけめば、もくなるよ。「ば」は、XがYをさせるためのであるということをうによくいられる。⑧は、「Xさえ…ばY」ので「YがするためにはXがすればだ」というのであり、⑨は、どうすればんでいるがられるかをべる、⑩は「そんなにめばがくなるのもだ」というのである。　これらはいずれも「XならばずY」という＜＞をにもち、それをのにもてはめてべるのにいられる。⑩のでえば、「だれでもみぎればがくなる」という＜＞を、のにしててはめ「あなたもそれだけめばがくなるのもだ」とっているのである。b　…ば＋意志・希望①ければうつもりです。②A：こんどの、がよければハイキングにこうよ。B：いいね。すこしぐらいがくてもこうよ。③A：なにかむ？B：そうだな、ビールがあればみたいな。④レポートをしなければ、はあげません。⑤さんがかなければ、もかない。⑥さんがけば、もく。⑦をってくれればおこづかいをあげる。⑧おくださればおえにがります。⑨もし、にこのをみわれば、にこのをみます。⑩もしがればしよう。「Xば…しよう／したい」のようなで、Yがやをすで、Xにいられるにはがある。としては、Xのがのはがないが、やをすにくはになることがい。　①～⑤はイや「ある」や「V－ない」など、のがわれているため、「ば」はなくできる。⑥～⑩はXが・をすだが、「ば」ができるである。⑥は、きとしがじをすようなであり、⑦⑧は、「あなたがXをえばはわりにYをう」といったの、にをしてするのである。⑨⑩は、それぞれ「みわるかどうかはっきりわからないが／みわらないかもしれないが、もしみわったら」「にがったは」というをすもので、Xのことがらがにするかどうかにいをもっていたり、しないをにいれてべるのである。⑥～⑩のようなは、Xが・をすものでも「ば」のがとなる。これにして、のについて、のをなにそってすようなには「ば」はえない。えば⑨が「このをみわってからのをもう」というでわれるには「ば」をいることができず、わりに「たら」をわなければならない。（）このをめばにこのをみます。（）このをんだらにこのをみます。c　…ば＋働きかけ①そういたければにえ。②やりたくなければやるな。③をすませなければびにってはいけない。④みたくなければまなくてもいい。⑤おがあれば、もうしゆっくりしていってくださいよ。⑥、がよければにきませんか。⑦7までにがわれば、てください。「ば」のに「・・・・」など、きにをうことをする「きかけ」のがいたもの。にが「きかけ」ののは、Xに・をすはいにくく、Yが「・」ののよりもさらにいをける。　「ば」がなのは「V－たい」「V－ない」「ある」などののにくで、①～⑥はすべてそのようなである。⑦は、をすに「ば」のがなで、「わる」というのにがいている。「わらないかもしれないが、にわらせることができた」というで、わるにしてしはいやなちをもっている。このようなには「ば」ができることがある。　だが、には、Xがやをし、その・がこったに、のをうようしたりそれをしたりするには「ば」はえず、わりに「たら」をわなければならない。（）にけばえにてください。（）にいたらえにてください。（）おをめばするな。（）おをんだらするな。d　…ば＋問いかけ①A：ならば、はくなりますか。B：の2になります。②このはをすればりますか。③あやまればしてくれるでしょうか。④A：どうすればをしてくれるかしら。B：かりをしてにあやまるのがね。⑤A：どのぐらいすればよくなるでしょうか。B：2ぐらいですね。⑥A：どこにけばそのをつけることができるでしょうか。B：のをせば、ぐらいはあるかもしれませんね。「XばYか」ので、きにえをするいかけをす。①～③は、「はい」「いいえ」をう、④～⑥は、「どう」「どこ」などのをうのである。の、「ば」は、「どうすればYか」ので、よいYをるための・Xをうようなによくいられる。これにして、Xがしたにどのようなをとるかをうは「たら」をうのがで、「ば」をうとになることがい。（）がればどうしますか。（）がったらどうしますか。e　疑問詞＋V－ば…のか①いったいどういうふうにすればかってもらえるのか。②すればあんなににがしゃべれるようになるのだろう。③どれだけてば、はるのか。④、じちをりせば、がすむのであろうか。「／どれだけ／どんなに」などのにのバがく。「いくら…してもなかなかいりにならない」というで、にするいらだちやなちをす。には「のか／のだ／のだろう（か）」などがいられる。「V－ば」は「V－たら」でもいかえ。4　…ば＜反事実＞にとのことがらをべて、もしがならばする（した）はずのことをべる。すでにしてしまっていることがらについてうと、がなことがらかなようなにう。ましいがしないはやなちをう。にいがけられたようなは「そうならなくてよかった」というのちをす。＜＞かどうかはではできないがいが、のようなはでよくわれるものである。このの「ば」はいずれのも「たら」でいかえることができる。a　…ば…のに／…のだが①がなければみはもっとしいのに。（なことにがある。）②おがあればうんだけどなあ。（おがいからえない。）③おがあればえたんだが。（おがなかったのでえなかった。）④A：うまくいった？B：うまくいっていれば、こんななはしていないさ。（にしたから、こんななをしている）「XばYのに／のだが／のだけれど」のの。Yのはのとのがある。①②がので、とうことをんだり、をいたりするの。③はので、のとはなるをして、そのにはったになっていたということをべるもの。④は「V－ていればV－ている」ののもので、すでにしていることがらについて、がなればのようであるはずがないとしてべる。①～③のようにに「のに」「のだが」「のだけれど」などがけばであることがはっきりするが、④のようにそれがされないもある。b　…ば…だろう／…はずだ①のこるのがあと1ければはずっときかっただろう。②をつけていれば、あんなはきなかったはずだ。③がもうしければからなかったかもしれない。④あのすぐにをしていれば、かったにちがいない。⑤がめにらなければ、ひどいになっていたとう。⑥あの、あのこっていれば、はここにいないはずだ。がなればありたはずのことがらをしてべるもの。には「だろう・はずだ・かもしれない・にちがいない・とう」など・をすがわれる。　①～⑤のように、これらがのタをけるは、のがそれとなることをし、⑥のようにをけるは、がそれとなることをす。c　…ば…ところだ（った）①もうしければ、がでくところだ。②あのとき、あのにっていればもにきまれていたところだ。③のはになったらしい。がをしてくれなければ、もうしでにくところだった。④がもうしくていればになるところだった。⑤していただかなければれていたところでした。は「V－るところだった」「Vていたところだ」「V－ていたところだった」などのになる。　「…ばV－るところだ」は、がXとなればしそうなのことがらYをするい。①がそので「にはくないのでけないが、そうしたいぐらいのちだ」というをす。　「…ばV－ていたところだ」は「がなればそうした／なったはずだ」と、にありたをべるで、②がその。　③④の「…ばV－るところだった」は、がなればこっていたはずのが、そのでけられたようなにう。「いをけることができてよかった」というようなにいる。　⑤の「れていたところだった」は「れているところだった」とうこともできるが、は「れずにすんだ」というのでのをし、は「れずにすんでいる」というでのをす。⇾【ところだ】2d　…ば　V－た／V－ていた①ければった。②もっとくればにった。③てがければ、はかっていた。④きちんとしたがあれば、もしなかった。がのタをとって、にすることがらをす。のことがらについて、にはしなかったことやとはったをして、そのにしていたことがらをうにう。②のでえば「もっとくればにったのだが、にはくたのでにわなかった」という。　、は、のA～cのようにに「のに／のだが／のだけれど」や「だろう／かもしれない／はずだ／にちがいない／とう」「ところだ（った）」などをうことがいが、dのようにそれがないもある。にがタでわるは、「ば」をいたと「たら」をいたはなるをすことがあるのでがである。（）1。ボタンをしたらした。（）2。ボタンをせばした。（1）は「ボタンをした。するとした」というにこったのになるのにし（2）は「ボタンをせばしたがにはさなかったのでしなかった」というのになる。5　…ぱ＜確定条件＞①はわりだというだったが、ってみれば、うわさほどのことはなかった。②われてみればそれももっともながする。③めるはだったが、すべてがわってみれば、それほどしたことではなかったとう。「XばY」というで、XがしたでYをたにしたというをすにいる。このには、「たら」と「と」をうのがで、「ば」がわれるのは、やなど、ややめかしいなにられる。しことばでわれるは、たいてい「V－てみれば」のでわれ、をって「それももっともだ」「やっぱりそれがだ」とするようなちをす。　①～③は「たら」でいかえられるが、「たら」をったは、「あることをした、あることにがついた」というになる。えば、①を「たら」でいかえ「ってみたら、うわさほどのことはなかったよ」のようにうと「ってみた、うわさとはうことがかった」というになる。このようにたにかったことがらをそのままべるようなは、「たら」か「と」をうのがで、「ば」をうとになることがい。（）、でながするのでかとってってみれば、がラーメンをっていた。（）、でながするのでかとって｛ってみたら／ってみると｝、がラーメンをっていた。（）きれば、がっていた。（）｛きたら／きると｝、がっていた。のようにじがのにしてのをだけうようなは「ば」と「たら」はえず、「と」をわなければならない。（）はに｛れば／ったら｝、テレビをた。（）はにると、テレビをた。6　…ば…で　A－ければA－いで　V－ばV－たで①がないとさぞだろうとっていたが、なければないでやっていけるものだ。②はさにい。それではがきかというとそうではない。ければいでばかりっている。③などというものは、ければるが、あればあったでやっかいなものだ。④がさいは、をしないだろうかちゃんとつだろうかとばかりしていたが、きくなればきくなったで、やらやらのはなくならない。じやをりしてう。なことがらをりげて、どちらにしてもじだというにう。えば、①は「はあればだが、なくてもったほどはらない」②は「はくてもくても、をっている」③は「はあってもなくてもる」、④は「はさいもきくなってからもなものだ」というになる。④は2の「きく」をして「きくなればなったで」ともえる。「…たら…で」は。7　…ぱ＜前置き＞　にくがどのようなでなされるものなのか、もってそのをしたり、やをうにいる。あるのんだな。たいていの「たら」でいかえが。a　…ば＋依頼・勧め①もし、おしえなければ、ごとおをおかせください。②A：のはもうわったんでしょうか。B：はい、3にいたしました。よろしければ、のにもがございますが。③よろしければ、もういかがですか。きにやめ・をするにいられるなで、のやちにするをす。「あなたのやにするものでなければ」というで、もしがかったり、そのがないはずしもそれにじなくてもいいというしのをすなである。b　…ば＜観点＞①A：にくのかい。B：うん。でもえば、はきたくないんだ。②50とべれば、もずいぶんがくなったとえる。③はなので、よりものがくつくらしい。えてみればおかしなだ。④えば、がするまでのこの10はいだった。「う」「う」「べる」など、や、をすをけて、にくやがどのような・からなされているのか、もってし、するい。①②は「って／うと／ったら」「べて／べると／べたら」、③は「えてみると／みたら」といかえることができる。④は「めてえば」ので、これまでのことををこめてりるにわれるいだが、テや「たら」「と」でのいかえは。あるがんだがく、このにも「はっきりえば」「にえば」「からみれば」「からすれば」などがある。8　V－ば＜勧め＞①≪りで≫A：これなんかどうかなあ。B：てみれば？②A：ゆうべから、すごくがいんだ。B：そんなにいの？めば？③A：あ、これってる。B：えてあげれば？のイントネーションでされ、きにあるをするようにめるにう。「V－ば」だけでわるいをすると、しにとってはどうでもいいことであるという、げやりなじがすることがい。「V－たら」「V－たらどう」でいかえ。くだけたしことばでう。9　…も…ば…も①はがいくせにもめばたばこもう。②はなでもできればもできる。③なんかもらっても、うれしくもなければ、だともわない。④がきなもいれば、いなもいる。⑤のにはいいもあればいもある。①～③のようにしたことがらをにべてするや、④⑤のようになことがらをベて、いろいろながあることをすにう。これらのは「もむしたばこもう」のように「－し」をったにいかえることができる。また、「のきながいればいなもいる」のように、めの「も」に「が」がわれることもある。10　おもえば⇾【おもえば】11　…かとおもえば⇾【かとおもえば】12　…からいえば⇾【からいう】113　…からすれば⇾【からする】114　…からみれば⇾【からみる】115　さえ…ば⇾【さえ】216　ってば①おさんってば、くてよ。②にがしいんだってば。⇾【ってば】17　…といえば⇾【といえば】18　…とすれば⇾【とすれば1】⇾【とすれば2】19　…となれば⇾【となれば】20　…ともなれば⇾【ともなれば】21　…ならば⇾【なら1】⇾【なら2】⇾【なら3】22　…にいわせれば⇾【にいわせれば】23　…にしてみれば⇾【にしてみれば】24　…ば…ほど①えればえるほどからなくなる。②べればべるほどる。⇾【ほど】4b25　…も…ば①そのなら1000もせばえるよ。②こんなは5もあればわる。⇾【も】4d26　…も…あれば…もある⇾【も】10(476)

### 【は…で】

NはNで①のうことなどにせず、はでがしいとったことをやればいいのだ。②はオリンピックでをり、はで、めていたがをした。③タヌキはいにけ、キツネはキツネでなにわった。「XはXで」とじをくりしいて、のものとしながらXについてべるのにいる。(487)

### 【ばあい】

Nのばあい　Naなばあい　A／V　ばあい　1　…ばあい①のはします。②、など、のには、エレベーターをせずにをごさい。③あのにはやむをなかった。④からのがなには、ヘリコプターをすることになるだろう。⑤このがしたにはをさしあげます。⑥8になってもがらないにはにしてさい。こりるいろいろなのから、ひとつだけをとりあげてにするにう。①～⑥は、「…は」といかえられる。しかし、のように、しのなにづくなをすには「」はえない。（）がったにははまっていた。（）がったにははまっていた。2　…ばあいもある①のによってはでばあいきないもある。②はたくさんしておりますが、れになるもございます。③なであっても、したにできないもあるし、のもありうる。あるがこりるがあることをべるときにう。①②のように、「たいていはだが、にだめなこともあるのでもっておらせしておきます」というでわれることがい。③は、なをにげて、「いろいろながある」ことをべているである。3　…ばあいをのぞいて①のをいて、をしないでさい。②のをいてこのがされることはない。③やけがなどなをいて、はわない。あるながきたときをりげて、をべるにいる。に「…ないでください」「…しない」などがくことがい。①は「のけ、をってさい」、③は「やけがなどなときだけ、をする」というになる。「は」とうこともある。4　V－ているばあいではない①はいているじゃないよ。②もうしているではない。あるのみだ。③A：にちたら、にかなくてもすむな。B：をっているじゃないだろう。しはしたらどうだ。のやがっているがであることをべて、がであることをきにするにう。5　ばあいによっては⇾【によって】5(487)

### 【はい】

のやあいづちなどにいる。「はい」にたに、「うん」「ええ」がある。「うん」は、やなど、ごくしいでくだけたやのにかってうにしかえない。まったでは「はい」や「ええ」がいられる。のにわれるものに「いいえ」「ううん」「いや」などがある。1　はい＜肯定＞①A：これはあなたのですか。B：はい、そうです。②A：、へいきますか。B：はい、きます。③A：おいしいですか。B：はい、とてもおいしいです。④A：ですか。B：はい、です。⑤A：へるんですか。B：はい、そうです。しのがしいかしくないかをうにおいて、のがしいにえとしている。この、「はい、そうです。」は①のようにをけるにしかえない。・をけるには②③④のようにじ・をりさなければならない。ただし、⑤のようにが「のですか」「んですか」のは「はい、そうです。」もうことができる。（）A：これは、あなたのではありませんね。B1：はい、ちがいます。B2：いいえ、わたしのです。ののようなではのがしいには「はい」っているには「いいえ」がわれる。つまり、「これはあなたのではない」がしいであれば、えはB1「はい、います。」や「はい、のではありません。」となり、「はい」がわれる。のでわかるように、にするえは、のやがしいには「はい」、ちがうには「いいえ」となり、のそのものがかかにはがない。のでは、にして「はい」「いいえ」をわないでえることもい。2　はい＜承諾＞①A：ってくれますね。B：はい。②A：いっしょにやりましょう。B：はい。③A：これをあっちにってってください。B：はい、わかりました。④A：いっしょにをしませんか。B1：はい、きましょう。B2：いや、はちょっと。⑤：くおふろにりなさい。：はいはい。：「はい」は、！や、などをするにう。④は、はだがしいかしくないかをうものではなく、なので、するには「はい」がわれる。わるに「いいえ」をうとするじがいのでけられることがい。⑤のように、やにして「はい」をりすのは、いやいやをしているようでなをえる。3　はい＜応答＞①A：。B：はい。②A：ちょっとおたずねしますが…。B：はい。③A：あのう。B：はい。④A：お－い。ちょっと。A：はい。よびかけられた、をとるためにをばれたなどのにう。このは「ええ」はわない。くだけたで、びかけられたには、「はあい」や「なに」「なあに」などもわれる。4　はい＜あいづち＞①≪で≫A：ののことですが…B：はい。A：のはさんいらっしやることになったんですが。B：あ、はい。A：ええ、それで、Bさんのごはどうかといまして…。B：すみません。それがですねえ。にができてしまいまして、しないんですが…。A：だめですか…。「はい」や「ええ」「うん」は、あいづちとしていられることがい。そのにはのをしている、いていることをしているだけで、にしているわけではない。5　はい＜喚起＞①はい、みなさんこっちをいて。②はい、みなさんしますよ。③はい、どうぞ。④はい、お。⑤はい、これでございます。のをきつけるのにう。この、「うん」「ええ」はえない。6　はい＜追認＞①A：おじいさんは、こちらにはくおまいですか。B：ですか。は、からずっとここにんでおります。はい。②：どっちがうかしら。：そりゃもう、どちらもおいでございます。はい。ののに、のをするようなじでつけえる。めかしい、あるいはへりくだったじがする。(489)

### 【ばいい】

N／Na　なら（ば）いい　A－ければいい　V－ばいいのバに「いい」がいたない。「ばよい」「ばよろしい」はそのややまったい。⇾【たらいい】⇾【といい】1　V－ばいい＜勧め＞①みたければめばいい。②おがないのなら、おさんにりればいいじゃない。③A：どうすればやせられるでしょうか。B：べるをらして、たくさんすればいいんじゃないですか。④A：ごろきましょうか。B：10までにてくれればいい。にのをとるようにめたり、したりする。のよいをるためにどのような・をとるのがいいかしたりそれをめたりするにいる。「たらいい」とで、だいたいきかえられるが、「ばいい」には「それさえすれば」というがい。によっては、しにとってはどうでもいいこと、そんなになことさえからないのかといったげやりなニュアンスをもつがある。をめるは、3aのように「どうすればやせられるか」のでをしてたずねるか、「どうすればいいか」というをう。2　…ばいい＜＞①このがのならいいのに。②もうすこしならいいのに。③もうしがければいいのだが。④もっとがければいいのになあ。⑤、がれればいいなあ。⑥がきていればなあ。⑦さんもパーティーにしてくれればいいなあ。そうなってほしいというしのをす。は「のだが／のに／（のに）なあ」などをうことがい。がするとなったり、できないようなには、「そうでなくてだ」というちをう。⑥のように、「いい」がされた「…ばなあ」のもよくわれる。ほとんどの「たらいい」でいかえられる。3　…ばよかった①がもっとちならばよかったのに。②がもっとならばよかったのに。③もう10センチがければよかったのに。④あんな、にかなければよかった。⑤A：スキーしかったよ。もればよかった。B：もければよかったとうよ。だった。にはこらなかったり、がにするようなに、それをにったり、きをするちをす。④のようにをいて「なければよかった」というは、にしてしまったことをするい。には「のに」のほか「のだが／のだけれど」などがくことがある。「たらよかった」もほぼ。こので「とよかった」もえないことはないが、「たらよかった」「ばよかった」のほうがよくわれる。のについてうは「のに」はいられない。（）もければよかったのに。（）もければよかったんだが。(491)

### 【はいざしらず】

⇾【いざしらず】

### 【はおろか】

Nはおろか①は、はおろかさえ、ほとんどったことがない。②さんはアレルギーがひどくて、はおろかパンもべられないそうだ。③このにははせません。はレポートはおろかさえしていないんです。④されたとき、そののははおろかすらしていなかったという。⑤もしいていてピストルをきつけられたらにらわないでおをしなさい。さもないとはおろかまでなくすことになるよ。⑥もになると、はおろかあるのまでにりまれた。「XはおろかYさえ／も／すら－ない」のようにとにうことがい。もちろんのこと、うまでもなくので、のいものをXでし、Yをするのにう。めかしくかたいでう。しことばでは「…どころか」をう。(492)

### 【ばかり】

1　数量詞＋ばかり  
①ばかりってください。  
②ばかりをんだ。  
③りんごをつばかりください。  
④1000 ばかりしてくれませんか。  
⑤このを100メートルばかりくときなにます。  
⑥るのがしばかりすぎたようだ。  
⑦ちょっとばかりがいいからといってあんなにいばることはないじゃないか。  
をすにいて、だいたいのをす。①～⑤は、「ほど」でいいかえることができる。のしことばでは「ほど」のがよくわれる。  
では①②のようにのさをすときにはえるが、・にはえない。そのには「ぐらい」や「ごろ」をう。  
（）3ばかりにてください。  
（）3｛ぐらい／ごろ｝にてください。  
（）103ばかりにてください。  
（）103｛ぐらい／ごろ｝にてください。  
③④は、「りんごをつください」「1000 してください」とじであるが、「ばかり」をつけてをはっきりわないことでがやわらかくなっている。⑥⑦のように、「すこし」「わずか」「」などにもく。  
2　…ばかり＜限定＞  
しことばでは、「ばっかり」もわれる。  
a　N（＋助詞＋）ばかり  
①このごろ、くへんなばかりかかってくる。  
②うちのはまんがばかりんでいる。  
③はいつもばかりっている。  
④はからばかりしている。  
⑤6にってから、ばかりだ。  
⑥とばかりんでいる。  
⑦はっにばかりい。  
⑧こののはされたものばかりで、いずれもだ。  
「それだけではない」というをし、「じものだけをたくさん」「じことをもくりかえす」ことをべるにわれる。  
①～⑤⑧のようにのにく「ばかり」は、「が」「を」のにいて「ばかりが」「ばかりを」となるが、「が」「を」はかれることがい。そののがあるには、「＋」のにいて⑥⑦のように「とばかり」「にばかり」になる。「まで」「より」のにはかない。また、をす「から」にもかない。「だけ」「のみ」にているが、「もりして」「いつも」「すべて」などのみがあるには、「だけ」や「のみ」をうことはできない。  
（）うちのはいいばかりだ。  
（）うちのはいい｛だけ／のみ｝だ。  
（）はからまでばかりっている。  
（）はからまで｛だけ／のみ｝っている。  
b　V－てばかりいる  
①はてばかりいる。  
②んでばかりいないで、しなさい。  
③べてばかりいるとりますよ。  
④はからってばかりいる。  
じことをもりしたり、いつもじにあることをしがにべるにいる。「だけ」「のみ」とれかえることはできない。  
c　…ばかりで  
Naばかりで  
A－いばかりで  
V一るばかりで  
①はうばかりでではもしない。  
②サウナなんかいばかりで、ちっともいいとわないね。  
③このごろのはきれいなばかりではもうひとつだ。  
④しいばかりで、ちっとももうからない。  
「ばかり」でりてられたことだけで、それのことはないというしのマイナスをす。には、がく。  
d　Nばかりは  
①そればかりはおしさい。  
②ばかりはおけさい。  
③ばかりはせない。  
④のことはしてもいいが、このばかりはゆずれない。  
⑤いつもはなも、このばかりはらなかった。  
「これ・それ・あれ」やにいて、「のはともかくそれだけは」「なくともそのときだけは」などのをす。きことばなかたい。のしことばにうとめかしくげさなじがする。  
3　V－たばかりだ  
①さっきいたばかりです。  
②このあいだったばかりなのに、テレビがれてしまった。  
③まだ3になったばかりなのに、はうすくなってきた。  
④にたばかりのころは、もよくらなくてにった。  
⑤さんはしたばかりなのに、もうをえているらしい。  
がしてから、があまりたっていないことをす。のでなくても、⑤のように、しにとってがたっていないとじるにもえる。  
4　V－るばかりだ＜一方的な変化＞①がわってからも、のはくなるばかりでした。②コンピュータがされてからも、はえるばかりでちっともにならない。③ももをてからは、れていくばかりだ。いへのなをす。「…するだ」といかえることができる。5　V－るばかりだ＜準備の完了＞①もみんなして、すぐにもかけるばかりにしてあった。②もそろってはみてるばかりというになって、がないことにがついた。③もできた。ビールもえている。は、おのをつばかりだ。④はただるばかりだ。「V－るばかりにしてある」「V－るばかりになっている」のでよくわれる。①～③のように、がして、いつでものにれるになっていることをべるにう。また、④のように、「すべてをやって、あとは…するだけだ」というでうこともある。6　…ばかり＜比喩＞　a　…ばかりのN　A－いばかりのN　V－るばかりのN①からのはくばかりのしさだった。②はまばゆいばかりののをびながらんでいった。③きるばかりののさにをうばわれた。④されたはをるばかりのらしさである。⑤つくばかりのがれた。をってがはなはだしいことをす。ながく、きことばないで、などによくわれる。b　V－んばかり①デパートはあふれんばかりのでごったがえしていた。②のスピーチがわると、われんばかりのがわきおこった。③はににえんばかりにいている。④おのしさはかんばかりでした。⑤かんばかりにむので、しかたなくきけた。⑥ひさびさのをんだはをひかんばかりにしてをきいれた。⑦はだとわんばかりになをしていた。⑧はまるでだとわんばかりのきでのをた。⑨はほとんどもせずに、くれとわんばかりだった。は「V－ない」の「ない」をとって「ん」をける。　①～③は、「…しそうなほどのN」、④は「いてみえるほどしかった」というで、をってがはなはだしいことをす。⑤⑥は、「ほとんど、にも…しそうなようすで」「…しているとってもよいで」というをす。⑦～⑨は、「…とわんばかり」のでわれて、にそうったわけではないが、などからしにそのようにじられたことをす。　「・・き・」などのとともにいられることがい。7　…ばかりに　a　…ばかりに　Aばかりに　V－ばかりに①きがないばかりに、ににされている。②はきっているのだが、のがいばかりに、いまだにできずにいる。③のをじたばかりにひどいめにあった。④コンピュータをっているとったばかりに、よけいなまでしつけられるになってしまった。まさにそののせいでという。ろには、そのいにとどまったりいがじたりするというがく。b　R－たいばかりに　ほしいばかりに①にいたいばかりに、こんなにくまでやってた。②われたくないばかりに、にもないおをってしまった。③わずかながほしいばかりに、をすなんて、なんてげたことだろう。「どうしてもしたい」あるいは「したくない」のでという。ろには、そのためにはもいとわない、したくないこともあえてするというがく。8　V－てばかりもいられない①がくなってかがぎた。これからのをえるといてばかりもいられない。②このごろのがどうもくない。かといって、んでばかりもいられない。③ひとごとだとって、ってばかりもいられない。④よそののことだとしてばかりもいられない。「V－てばかりはいられない」のでもう。「それだけしているわけにはいかない」ので、のについて、しが「していてはいけない」「ゆだんしていてはいけない」とじていることをすのにう。「う・く・ぶ・する・する」などのやをすとにわれることがい。9　…とばかりはいえない①にマンガがいとばかりはえない。にはすばらしいものもある。②をて、にめているからといって、としてりっぱだとばかりはいえない。「にめつけられない、そうでないもある」「にそうだとはえない」という。10　…とばかりおもっていた　N／Na　だとばかりおもっていた　A／V　とばかりおもっていた①さんはだとばかりっていたが、もうおさんがもあるそうだ。②はだとばかりっていたら、のだった。③A：はどうしてパーティーになかったんですか。B：えっ、だったんですか。だとばかりっていました。「かんちがいしていてそういこんでいた」というでかのきっかけで、それまでいいをしていたことにしがづいたにいる。かららかなときはろのはされる。11　…とばかり（に）①チームのがれた。らはこのときとばかりにめんだ。②「えいっ」とばかりりつけた。③がチャンスとばかりにめかかった。⇾【とばかり】(492)

### 【ばかりか】

きことばなかたい。1　…ばかりか　…も／…まで　Nばかりか…も／…まで　Naなばかりか　…も／…まで　A／V　ばかりか…も／…まで①は、ばかりかもめる。②のばかりかまでがをにしている。③そのニュースがされると、ばかりかくからものがよせられた。④をしてもけるようにはならないかもしれないとわれていたが、のはめざましく、けるようになったばかりかいもこなせるようになった。⑤では、やのようなばかりか、でものがひどくなってきているらしい。「…だけでなく、そのに」という。まず、のいものについてべて、それだけでなくて、さらにそれよりものいことにもんでいるというにう。えば①は、「は、がめるだけではなくて、それよりももっとしいもめる」というになる。②は、「のだけではなくて、（してくれるはずの）までをにしている」という。「V－ないばかりか」のでわれるにはくないことについてわれるがある。（）はのをめないばかりか、がいなどといすだ。（）にしてやったのに、は、まじめにかないばかりかしまいにはりだした。（）をんだが、きかないばかりか、かえってがくなってきた。2　それだかりか①さんはがせる。そればかりかもインドネシアもせる。②はそのにるをえた。そればかりか、いくらかのまでたせてやった。③のには、たいていがある。そればかりかやカバンまでまっているというがい。は1とじ。はじめのでのいことについてべて、にさらにそれよりもっとのいことにもんでいることをべる。(497)

### 【ばかりでなく…も】

①さんはばかりでなくもせる。②がけないばかりでなく、ひらがなもけない。③さんがイギリスにくことは、ばかりでなくでさえもらなかった。④このアパートは、いばかりでなくもうるさい。「XばかりでなくYも」のでわれて、「Xはもちろん、Yも」というをす。「も」に「まで」や「さえ」などもわれる。しことばでは「だけじゃなくて」のほうがよくわれる。(498)

### 【ばこそ】

N／Na　であればこそ　A－ければこそ　V－ばこそ①すぐれたであればこそ、からあれほどわれるのです。②がであればこそ、つらいもやれるのだ。③にするがければこそ、こんなにくをけてこられたのだ。④あなたをしていればこそ、おいするのですよ。⑤をすればこそ、がになることなどはおそれない。「ば」に「こそ」がいたもの。「ほかでもないこので」というで、をするややめかしいい。に「のだ」をうことがく、たいていをす「から」できかえができるが、「から」ではをするはわれる。（）すぐれただから、からあれほどわれるのです。に「からこそ」があるが、「からこそ」は、・がプラス・マイナスのどちらのことがらのでもうことができるのにし、「ばこそ」はマイナスのことがらが・となるにはいにくい。（）がければこそいなものもしてべなければならない。（）がいからこそいなものもしてべなければならない。きことば。やまったしことばでわれる。⇾【からこそ】(498)

### 【はじめ】め

1　Nをはじめ（として）…など①のとしては、をはじめ、、の、けなどがげられる。②にはがい。をはじめ、ドイツ、ポルトガル、オランダなどさまざまなのがわれている。になものをげて、そのにじようなをべるのにう。2　Nをはじめ（として）…まで①そのには、をはじめ、のからにいたるまで、さまざまながした。②のには、をめ、のないまでがした。なものからよりいにまでんでいることをす。(499)

### 【はじめて】めて

V－て（みて）はじめて①になってはじめてのありがたさがわかる。②にってめてのについてもらないことにがついた。③われてみてめて、がいかにであったかにがついた。「あることがこってはじめて」というで、かをした、いままでがつかなかったことや、っていてもあまりくえなかったことにめてづいたことをべるのにいる。(499)

### 【はず】

Nのはず　Naなはず　A／V　はず　1　…はずだ＜話し手の判断＞①A：さんものにはするんですか。B：いや、はにくとっていたから、のにはないはずだよ。②あれから4たったのだから、はあのものはずだ。③はにぎやかなこのりも、はかだったはずだ。④A：にこのボタンをせばいいのかい？してもかないよ。B：によるとそれでいいはずなんだけど。だなあ。⑤A：あそこにいるの、さんじゃありませんか。B：おかしいな。さんはニューヨークにったはずだよ。⑥A：はからですか。B：ええ、そのはずです。しが、なんらかのにづいて、そうであるとえたことをべるにいる。のはにのえるものでなければならない。って、のようなにはいることができない。（）めがねがつからない。またどこかにきれたはずだ。（）めがねがつからない。またどこかにきれたんだ。④⑤のように、がしのとったには、・のをす。のについて、「はするはずです。」とはえるが、しのについては、「はず」はえない。このには「つもり」「V－ようとう」「…だ」をいる。（）はするはずです。（）はするです。のであっても、ののように、のでできないことやのとったにはえる。（）マニュアルをもんだからできるはずなんだけど、どうしてもコンピュータがしない。（）そのには、もくはずでしたが、けませんでした。2　…はずだ＜納得＞　Naなはずだ　A／V　はずだ①この、いねえ。（がいているのをつけて）いはずだ。がいているよ。②≪をながら≫がするはずだ。にすばらしいできだ。③さっきからがにすいているとっていたが、すいているはずだ。はだ。しがにっていたことやにできないでいたことをうまくできるをつけてするちをす。3　V－たはず①おかしなことに；めたはずののカギがいていた。②A：、っていたよ。B：えっ、よくかめたはずなんですけど。すみません。③ちゃんとかばんにれたはずなのに、にってみるとがない。しがそうだとっていたことがとったにわれ、しの、などのちをす。4　…はずがない＜可能性の否定＞①あのながそんなひどいことをするはずがない。②かぎがない？そんなはずはない。さっきのにいたんだから。③これはのにあったんだよ。がらないはずはない。「はずがない」「はずはない」のでいられて、「ありえない・だ・おかしい」などしのいをす。えば、③は「らないというのはおかしい。っているはずだ。」というになる。1のをいた「…ないはずだ」は、「…ないだろう」としがっているにうので、たとえば①は「そんなひどいことはしないはずだ」となり、しのはややくなる。5　…はずだった①もるはずだったが、ができてられないそうだ。②はうまくいくはずだったが、にやってみると、うまくいかなかった。③めのでは、はもっとをるはずだったのに、いつのにかされてしまった。「そうなるとえていた」というで、にはそれとはったがたことをすのにいられる。しのや、などのちがめられることがい。「はずだったが／のに／けれど」などのでわれることがい。6　…はずではなかった①こんなはずではなかった。もっとうまくいくとっていたのに。②こんなはずじゃなかったのに。③がるはずではなかったのに。くは「こんなはずではなかった」というでわれて、がしのとって、したりしたりするちをす。「…はずではなかったのに」というでわれることがい。(500)

### 【はずみ】

Nのはずみ　で／に　V一たはずみ　で／に①ころんだはずみにをしてしまった。②のはずみで、はにりされた。③このあいだは、もののはずみで「とくるな」などとってしまったが、にそうっているわけではない。「あるので」というで、しないこと、しないことがこることをすのにう。③の「もののはずみで」はな。「V－たに」といかえられることがい。(502)

### 【はたして】

1　はたして…か①のりにみててみたが、はたしてこれでうまくくものかどうかがない。②このので、はたしてはするだろうか。③このので、はたしてがするだろうか。④はたして、どのチームがするだろうか。⑤にはにいところがないとすると、はたしてがのだったのだろうか。⑥はたしてのっていることがなのだろうか。「ほんとうに…か」という。「はたして…か」「はたして…だろうか」「はたして…かどうか」などのでわれて、しが「りにいかないのではないか」といのちをいているにう。また、④～⑥のように「いつ／どこ／だれ／なに／どう」などのをんだとともにわれて、「のところ、に」というをす。きことばな。2　はたして…した①もやってるのではないかとっていたところ、はたしてれた。②はたしてはした。「っていたとおり…した」「やはり…した」というで、しがしていたりのことが、にきたにいる。きことば。3　はたして…としても①はたしてのうことがであったとしても、にがないということにはならない。「に…だとしても」「に…ならば」「たとえ…だとしても」ので、であることをする。このはで、のしことばではわれない。(502)

### 【はとわず】

⇾【をとわず】

### 【ぱなし】し

Rっぱなしのにく。「R－はなし」のでわれることもある。1　R－っぱなし＜放任＞①ドアをけっしにしないでください。②しまった。ストープをつけっぱなしでてきてしまった。③うちのときたら、べたらべっぱなし、はいだらぎっぱなしで、のがちっともづかない。するべきことをしないで「そのままにしておく」「そのままでいる」というをす。「V－たまま」とはって、マイナスのがまれることがい。2　R－つぱなし＜継続＞①はとてもんでいて、からまでちっぱなしだった。②うちのチームはここのずっとけっぱなしだ。③はばかりで、のわれっぱなしだった。じことがらやじがずっとくというをす。(503)

### 【はやいか】いか

V－るがはやいか①5のは、ただいまとうがいか、もうびにってしまった。②は、そばにあったをつかむがはやいか、どろぼうになぐりかかった。ひとつのにいてすぐにのことがわれるをす。「…するのとほとんどに」「…するとすぐ」の。①では、「ただいまとうのと、びにてくのとどちらがいかわからないぐらいすぐに」つまり「ただいまとうのとほとんどにもうびにいった」というになる。きことばな。(503)

### 【はんいで】で

Nのはんいで　NからNのはんいで　Vはんいで①にわかるでよければおえしましょう。②しつかえないでおえさい。③からいて10ぐらいので、いいアパートはありませんか。④の、でがありました。5キロから10キロので、があったもようです。「あるられたがり」をす。(503)

### 【はんたいに】に

1　はんたいに①あのは、をにはいている。②はがもめない。にはとてもにい。③はどろぼうにびかかったが、にやられてしまった。④は、いっしょうけんめいしたが、はにさがってしまった。「に」という。①のように、「、」などつあるものがになっているや、②のようになことがらをべる、③④のように、えられるのとは、のになったにう。2　…と（は）はんたいに①はだちとぐのがきだが、はとにかにでもいているがきだ。②のはむきであたりがいいが、うるさい。それとはにのは、あたりはいがかだ。③さんがいいをしたのとに、くしてをとったさんはそのばっとしなかった。④がになっていくのとはに、のはえてきた。「…とはに」という。①②③のように、なつのものをべたり、④のように、してしていくについてべるにう。(504)

### 【はんめん】

1　…はんめん　Nであるはんめん　Na　な／である　はんめん　A－いはんめん　V－るはんめん①このはよくく、もい。②はである、にいというがある。③はな、やというマイナスのもっている。④はにしてはがい、にしてはいばっている。⑤おじはがんこである、もろいだ。「…のとに」という。じつのものごとのに、のをもつつのがすることをす。2　そのはんめん（では）①はたいへんきびしいだが、その、とてもやさしいところもある。②さんはがいのでだ。しかし、その、ミスもい。③なとそれにうのおかげで、のはかにした。だが、そのでは、なのがわれるというをもたらした。1とじ。①のように、「…が／けれど、その…」②③のように「（しかし／だが）その（では）…」のでう。(504)

### 【ひいては】

①のは、のであるばかりでなく、ひいてはのをもさせるきなであるとうことができる。②なのはにむのをうだけでなく、ひいてはのにつながるものである。をけて、「それがとなって」「さらにすすんで」というをす。①のように「さくえるがはもっとなのとなっている」、②のように「さなことがらが、よりきなにつながっていく」というでわれる。(505)

### 【ひかえて】えて

1　NをNにひかえて＜＞①をにえてたちはにがない。②をにえたがのとびるなんてとんでもない。③をにえてあわただしいだ。「XをYにひかえて」ので、Xでされたできごとがにさしせまっていることをす。Yには「に・10に・に」などをすがわれることがい。「Yに」をして「Xをひかえて」となることもある。②のようにをするときは「ひかえたN」となる。2　NをNにひかえて＜場所＞①はにをひかえてにがっている。②のはろにをひかえたのよいにある。・・・などにがりのあるきなものがすぐろにあるをす。②のようにをするときは「ひかえたN」となる。(505)

### 【ひさしぶり】しぶり

⇾【ぶり】2

### 【ひじょうに】に

①はひじょうにい。②になおでした。③そのはにありがたいのですが、ともよくしませんと。がはなはだしいことをす。かたい。しことばでは「とても」「すごく」がよくわれる。(505)

### 【ひではない】ではない

Nのひではない①アラビアのしさはなどのではない。②はなをけたことはないが、そのはののではない。③でもにすることはしい。しかし、がになることのさはのではなかった。「でない、べにならないほどがい」という。(506)

### 【ひとつ】つ

1　ひとつ…ない「ない」ことをする。よくたに「…も…ない」「…として…ない」などがある。については、「も／も／ペんも…ない」がわれる。a　Nひとつ…ない　Nひとつない　NひとつV－ない①つない。②しみひとつないしい。③はで、ちりひとつちていない。④のには、のいなかった。⑤あたりはしーんとして、ひとつしない。⑥のにしなかった。⑦からひとつべていない。「－ない」という。①②のように、「／しみがない」ことをべて、「のさ」「のしさ」をするのにいる。また、③～⑤のように、といっしょにわれて、「V－ない」というをす。「ひとつ」に「、、」など「＋」のもよくわれる。また、⑥⑦のように「ひとり…ない」「ひとつ…ない」のでわれて、「も…ない」「も…ない」というをす。b　…ひとつも…ない　ひとつもない　ひとつも　A－くない　ひとつも　V－ない①ったはひとつもない。②このはひとつもうまくない。③のには、まちがいはひとつもなかった。④このごろのファッションなんか、ひとつもいいとわない。⑤あいつは、のなんかひとつもえてやしないよ。「ない」「…ない」ことをしたい。2　もうひとつ／いまひとつ…ない①はいいが、のがもうひとつにらない。②がもうひとつよくならない。③のみかんは、がもうひとつりない。④のみかんは、がもうひとつだ。「もうひとつ…ない」「ひとつ…ない」のでわれて、しのしているにはっていないことをす。「とてもいというわけではないが、はかばかしくない、できない」という。①は「があまりにっていない」、②は「がにらない」、③④は「がしりない」というになる。また④の「もうひとつだ」もじ。3　Nひとつ…できない①ごろのはぞうきんひとつにしぽれない。②のくせに、ひとつえない。③このごろのいやつは、ひとつにできない。④してから、もうにもなるのに、ははがきひとつよこさない。⑤ビールーめないようでは、にでてからるだろう。⑥はたいへんしく、にしくってやれなかった。ならできるはずのなことができないことをするのにう。それのことはもちろんできないことをにして、しのやなどなちをすことがい。4　ひとつ①ひとつよろしくおいしますよ。②ひとつまれてほしいことがあるんだが。③ひとつまれてくれないか。④ここはひとつやってみるか。⑤ひとつにのってみようか。⑥おひとつどうぞ。⑦ひとついかがですか。のしことばでにいられる。「ちょっと、ためしに」という。①～③のように、かをむや、④⑤のように、しにかをやってみようとするにわれる。⑥⑦は、べなどをにめるにわれる。(506)

### 【ひとつまちがえば】ひとつえば

①というのはなで、のんだでもひとつまちがえばにかかわる。②のながいている。ひとつえばにもしかねない。③カーレースは、ひとつまちがえば、につながることもあるなである。④ひとつえばになるところだった。⑤るだったがした。ひとつえば、もあのでんでいたとうとぞっとする。「ほんのしので」という。①②③のように、ほんのしのでにいたるがあることをす。「ひとつまちがえば…こともある／かねない」などのでわれることがい。④⑤は、ほんのしのでにらずにすんだにわれたである。④の「ひとつえば…ところだった」のは、「にはそうならなかったが、もうしでなかった」ということをすときにう。(507)

### 【ひととおり】り

1　ひととおり①はりんだが、まだにはをけていない。②テニスをめようとって、はりえたのだが、しくてがない。③そんなになわけではないが、おもおもりはった。「についてざっと」「だいたいできるに」という。2　ひととおりのN①りのことはできるようになった。②このはしくてりのではわからない。③がした、はりのびようではなかった。④みんながっているのだから、しようとすれば、りのではだめだ。「のN、なみのN」という。くは「ひととおりのNではない」「ひととおりのNでは、…ない」のでわれて、「のではない」「のではできない」などのをす。3　ひととおりではない①するまでののは、りではなかった。②していたワープロがれたので、あわててだちからりてきたが、れないというのは、いにくいことりではない。「のではない」の。①は「たいへんなをした」、②は「たいへんいにくい」というになる。(508)

### 【ひとり…だけでなく】

ひとりNだけでなく①のいじめは、ひとりだけでなくのでもある。②このは、ひとりだけでなく、くにびかけてめたい。「にそれだけでなく」という。きことばで、ややかたいでう。さらになとして「ひとり…のみならず」がある。(508)

### 【ひとり…のみならず】

ひとりNのみならず①のは、ひとりがのみならずのでもある。②このNGOのには、ひとりイギリスのみならず、くののがしている。「ひとり…だけでなく」の、さらにない。⇾【ひとり…だけでなく】(509)

### 【ふう】

1　Nふう①あのはだ。②だというので、ちょっとわったをしていたが、やってきたのはサラリーマンのごくのだった。③さんは、のしゃれたいでパーティーにれた。「そのような」「そのようなスタイル」というをす。をするときは「NふうのN」となる。2　…ふう＜様子＞　Naなふう　A－いふう　V－ている／V－た　ふう①そんなにがっているふうでもなかった。②はないふうをってづいてた。③しぶりにったさんは、ずいぶんやつれて、にもっているふうだった。④なんにもらないくせにったふうなことをうな。「そのような」という。3　…ふう＜＞　a　こういうふう①こういうふうにやってごらん。②あのも、ああいうふうにんでばっかりいると、ろくなことにはならないよ。③どういうふうにしていいのかわからない。④A：きみ、りすぎじゃない？B：なだな。そういうふうに、のがることをはっきりうもんじゃないよ。⑤そういうふうないはだよ。「こういう」のほかに「そういう／ああいう／どういう」などもい、のやりやをすときにう。ナのをする。「こんなふう、そんなふう、あんなふう、どんなふう」ともう。b　…というふうに①きなにへき、きなにるというふうにはいかないものだろうか。②ひとりり、またひとりりというふうにして、だんだんがなくなってきた。③は、はというふうに、どこかくにすることにした。「やり、」や「」などについてをげてするのにう。(509)

### 【ふしがある】

①はどうもくのをいやがっているふしがある。②は、そのがにいることをっていたとわれるふしがある。③そののには、どことなくあやしいふしがある。「そのようなだ」という。①②のように、「がはっきりとそうったわけではないが、やからそのようにせられる」というにう。また、③のように、「あやしいところがある」というでう。(510)

### 【ふそくはない】はない

①にとってはない。②にははないがこのがもうひとつにらない。③はとしてのないだ。「しのどおりではない」という。(510)

### 【ふと】

1　ふと①はのをつけて、ふとちまった。②ふといついてのにってみることにした。③はんでしまうとどうなるのだろうなどとなことをふとえた。④はともわないのだが、かのに、しいだけのこんながふとむなしくなるときがある。「かちょっとしたに」「いがけなく」の。①のように、なももなく、ちょっとしたいつきやきっかけでかをするをす。また、②③④のように「える、う、いす」や「むなしくなる、さびしくなる」のようになをすなどといっしょにわれて、なぜかわからないが、かちょっとしたにいだしたり、がついたりすることをす。2　ふとV－ると①ふとげると、にはぽっかりいがかんでいた。②ふとすと、まわりにはもいなくなっていた。③をしていて、ふとがつくとはもうくなっていた。「なにげなく…したら」の。ろには、そのにかにがつくということがらがく。3　ふとしたN①いのには、ふとしたことで、がになることがあるものだ。②ふとしたきっかけで、とつきあうようになった。③さいころ、にはずいぶんいがってもらった。でも、ふとしたひょうしにのことをいすことがある。④んは、ふとしたがもとでんでしまった。「ささいな、、きっかけで」という。④は「ぬようなきなではなかったのに、んでしまった」という。(511)

### 【ぶり】

1　…ぶり　Nぶり　R－ぶり①ののぶりは、みんながっている。②ののぶりはだ。③いをされたの、のあわてぶりといったらなかった。④はみっぶりがいいね。⑤さんのしぶりからすると、はあまりうまくいっていないようだ。「ぶり、ぶり、ぶり」など、をすやのにいて、そのやありさまをす。「べる、む」は、「べっぶり、みっぶり」になる。④は、「ていてちがいいほどにむ」という。2　…ぶり①10ぶりににった。②にるのは5ぶりだ。③のぶりのに、みんながびした。④ぶりにふろにった。⑤は18ぶりにされた。⑥、ずっとしかったが、はしぶりにゆっくりすごした。⑦A：さん、おですか。してます。B：やあ、さん。しぶりですね。のさをすにく。「…ぶりに…した」のでわれることがく、いしなかったことを、もうしたことをべるのにう。④のようにいをうこともできるが、そのには「ならふろにるのだが、かぜをひいていてれなかったのでもれなかった」というようながで、しにとっていとじられるでなければえない。「ひさしぶりですね」「おひさしぶりです」は、いわなかったへのあいさつとしてわれる。(511)

### 【ぶる】

N／Naぶる①は、ぶってフランスのなワインしかまない。②はぶってをめた。③あのはぶってはいるが、たいしたのではない。④はもったいぶってなかなかえてくれない。⑤になったは、ぶってのにいろいろえたりしている。「…らしいで」という。「いかにもたいした…である」というふうに、ふるまうをす。①～③のように、「にはそうでないのに、まるでそうであるかのようなで」あるいは「たいしたことでもないのにげさに」など、しのマイナスをむにうことがい。④の「もったいぶって」は、なで「って、ものものしくう」というで、「なかなかえない／わない」などといっしょにう。られたのにしかえない。(512)

### 【ぶん】

1　…ぶん　Nのぶん　Vぶん　をす＋ぶん①いものがきなは、のぶんのケーキまでべてしまった。②しなくていいよ。のぶんはちゃんとしておいたから。③にべさせるまでわれてしまった。④のまでにってしまった。⑤をりるためには、はじめにのおがです。「…の／け」「そのためのもの」というをす。④は「うためのまでってしまった」、⑤は「にする」という。2　…ぶん（だけ）　Nのぶん　Naなぶん　A／V　ぶん①1ののだけ、がたまっていた。②でな、はではおとなしい。③べればべたぶん（だけ）る。④くめれば、その（だけ）がくわる。⑤をしていたぶん（だけ）られたときのショックもきかった。「そのにじて」という。③④のように、「…V－ばV－たぶんだけ」「…V－ば、そのぶんだけ」のでわれることがい。「それだけの、それにじた」をす。③は「べれば、べたそのだける」、④は、「くめれば、くめただけくおわる」、⑤は、「をたいへんしていたので、それだけショックがきかった」という。「だけ」はなくてもよい。3　このぶんでいくと　このぶんでは①かかって、まだもわっていない。このぶんでいくとするにはぐらいかかりそうだ。②このぶんではになりそうだ。③このぶんでいくと、はよりくわりそうだ。「このですすむと」「このさですすむと」という。4　…ぶんには　Naなぶんには　A／V　ぶんには①はたでているぶんにはそうだが、でやってみるとどんなにかがわかる。②はいかなるもじない。しかし、がじるぶんにはにかまわない。③A：しありません。のまるがいつもよりしくなりそうなんですが。B：くなるぶんには、かまわないよ。「そのりでは」の。①は、「でやらないでているりではそうにみえる」、②は「ははじないが、のがじるのはかまわない」、③は「くなるのはるが、くなるのはかまわない」というになる。(512)

### 【べからざる】

V－るべからざる①はの、くべからざるだ。②のをして、からのをけるなどは、としてすべからざるである。③いかなるがあったにせよ、がにをえるなど、ありべからざるだ。「べからざるN」のでわれる。「べきでないN」の。そのやが「しくない・ましくない」ことをべて「…ことができないN」、「…てはいけないN」などのをす。①は「かすことができない、れてはいけない」、②は「すことができないひどい」、③は「こるはずのない、こってはいけない」というになる。どんなでもえるというわけではなく、①～③の「くべからざる」「すべからざる」「ありべからざる」のようななだけがわれる。③は「る」ではなく「」にく。かたいきことば。(513)

### 【べからず】

V－るべからず①きするべからず。②にるべからず。③にさせるべからず。をす。「べきでない」の。そのが「しくない／ましくない／よくない」ことをべて「V－てはいけない」というをす。かなりいじので、やにかれることがい。しかし、では「にってはいけません」「」など、もっとやわらかいじのがわれるようになってきている。やによくわれるには、ほかに「…」「V－ることをず」などがあるが、いずれもかなりいのである。かたいきことば。しことばではわない。(514)

### 【べき】

N／Na　であるべき　A－くあるべき　V－るべき　の「べし」の。のではのにく。「する」には「するべき」と「すべき」のつのがわれる。1　…べきだ①はす（る）べきだ。②のにす（る）べきではない。③はまでにっているそうだが、はもっとにばせるべきだ。④はにをしてしくあるべきだなどというえにはできない。⑤でがんでいる。はにしてもっとであるべきだ。⑥：、がくないね。もっとするべきだね。：すみません。⑦A：にくかどうかっているんだ。B：そりゃ、くべきだよ。いいチャンスじゃないか。⑧このはきみがやるべきだ。⑨のでのをするべきじゃないね。「…するのがだ」「…するのがしい」「しなければならない」という。は「べきではない」で、「…するのはよくない」「…するのはしくない」「…してはいけない」の。①～⑤は、なことがらについて、しがをべているであるが、のについているには、やめ・・などになる。このは、きことばでものしことばでもよくわれる。2　…べき　だった／ではなかった　V－る／V－ておく　べきだった①あのっておくべきだった。②あんなひどいことをうべきではなかった。③はやっぱりあのときにしておくべきだったんだよ。のことがらについて、「ああしておけばよかった」「あんなことをしなければよかった」というをす。①は、「あの、っておけばよかった。（にはわなかった）」、②は「あんなひどいことをわなければよかった。（ひどいことをってしまった）」、③は「はあのしなかったが、しておいたがよかった」というになる。しがのことについてべるときは、やのちをす。このは、きことばでものしことばでもよくわれる。3　…べきN①について、すべきことはい。②エジプトのピラミッドは、にすべきのである。③エイズはるべきさでにがっている。④はすべきをっている。「しなければいけないこと」「そうなること」という。①は「じなければいけないことがら」、②は「すのがの、さなければいけないの」というになる。③④は、にわれるで、それぞれ「たいへんなさ」「ずぬ」というである。きことばなかたい。(514)

### 【べく】

V－るべく　の「べし」の。きことばなかたいとしてでもわれる。のにく。「する」は「するべく」と「すべく」のつのがわれるが「すべく」のほうがかたいじがする。1　…べくV－た①にむべくした。②やかにすべくします。③しかるべくされたい。「…をするために」「…するができるように」という。③は「にしてください」という。きことばなかたい。2　V…べくしてV－た①こののはからもされていた。このはこるべくしてこったといえる。②がったのはではない。につぐをねて、はつべくしてったのだ。じをりして、そうなるだろうとされていたことがにおこつたというをす。①は「がこるかもしれないとしていたら、やはりこった」という。②は、「がったのはやではなくて、あんなにしたのだからである」というになる。きことばなかたい。3　…べくもない①にではつべくもない。②はむべくもない。③ののを、くにいたはるべくもなかった。「…することは、とてもできない」「…はずもない」という。かたいなで、ではあまりわれなくなってきている。(515)

### 【べし】

V－るべし①はすべからくにむべし。②おそるべし。③のは、よほどしかったらしく、クラスでくできるでも60しかとれなかった。はしてるべしだ。ので、ではなほとんどわれない。「のこととしてしなければいけない」「するのがだ」というで、をす。　①は「すべからく…べし」ので、「はしなければいけないこととして、しなさい」という。　②は「いはこれから、おおいにしていくがあるのでにしなければいけない」というの。　③の「はしてるべしだ」は、で、「すれば、すぐにわかる」という。ここでは「のは、うまでもなくもっとい」というになる。(516)

### 【へた】

ナ。のでは、「へたなN」となる。1　へた　a　へた①がへたなので、もっぱらワープロをしている。②A：がへたで、すみません。B：へただなんてとんでもない。とてもおじょうずですよ。③は、へたなくせにゴルフがきだ。④へたないわけはやめなさい。⑤はむずかしいだから、へたなことをって、らせないようにをつけたほうがいい。「でない」「まずい」という。①～④のように、「うまくない、でない、がくない」こと。また、⑤のように「あまりよくえないでったり、したりする」こと。b　Nは…がへただ　NはNがへただ　NはV－るのがへただ①はがへただ。②はをうのがだ。③さんはピアノはうまいが、はだ。④はむはなんとかなるが、すのはだ。⑤A：テニスはやるんだろう？B：うん、へただけどね。「うまくできない」「ではない」という。よくたに「…がだ」がある。「だ」は、あまりきでないというがまれるが「へただ」にそのはない。2　へたに①このごろのはだから、してもがへたにいじらないがいい。②へたにかすとするかもしれないので、うかつにがだせない。③A：うちのがでね。ともきかないんだ。したがいいのかなあ。B：でも、へたにするとよけいにするかもしれないよ。「なやをしないで」という。うかつに。①のように、「うまくいかないがいから、しないほうがよい」というや、②③のように、「にやをしてしないと、くないことがきるがあるからをつけたほうがいい」というにわれる。3　へたをすると①A：はどうだった？B：それが、あまりくなかったんだ。へたをすると、できないかもしれないなあ。②のようなありふれたでもへたをするととりになることがある。③でのがあいついでいる。へたをすると、うちのもするかもしれない。④をいていたら、からがちてきた。へたをするとをするところだった。「くすると、ひょっとすると」という。①～③のように、いにいたるがあるというにう。しのやをすことがい。④は、「へたをすると…V－るところだった」というで、「もうしでいになるところだったが、かった」というにう。(516)

### 【べつだん】

1　べつだん…ない①べつだんわったことはない。②はいつもよりがないようだったが、はべつだんにもしなかった。「に／に…ない」という。ややかたいきことばな。2　べつだんのN①のごをいただきたくじます。②としてかれて、のいをけた。「の」「いつもとう」という。①は、にまったかたい。(518)

### 【べつとして】として

1　Nはべつとして①はとして、そのほかのアジアのとなるとするがになくなる。②やといったはとして、さいやにははないのがだ。③でのがかったさんはとして、うちのにはにのできるはいない。「…はだが」「…はだが」というをす。「べつにして」ともう。2　…はべつとして　…かどうかはべつとして　＋かはべつとして①につかどうかはとして、にいろいろなのをしておくことは、けっしてではない。②かどうかはとして、このはしてみるはあるとう。③だれがったかはとして、のようながでてくるにはいがするとわれる。「…についてはにしないが」というをす。「べつにして」ともう。(518)

### 【べつに】に

1　べつに…ない①にわったことはもない。②のなどにきたくはないが、わるなもつからないので、しかたなくくことにした。③どきなんか、にしくはないが、のおみやげにとわざわざってきてくれたのちがうれしい。④あなたなんかいなくても、にらないわ。⑤A：どうかしたの。B：いや、べつに。「に…ない」「とりたてて…ない」というをす。⑤のように「…ない」のがされることもある。2　（…とは）べつに　Nとはべつに　Vのとはべつに①とはに600のがです。②サービスはにいただきます。③みんなにったのとはに、にはなプレゼントをしておいた。④たのとはに、もうひとつがています。⑤はすごくんでいたので、だちとはにることにした。⑥はにまったとはにとなりののホテルにまった。①～④は、「…に」「…のほかに」、⑤⑥は「…とはなれて」「…とちがう」というをす。3　Nベつに①クラスにをった。②やではにをつくるのをやめようというきがある。③アンケートのを、にした。④のをにていくと、をはじめとしたアジアののがしいことがわかる。「Nごとに」「Nをに」という。(519)

### 【べつにして】

⇾【べつとして】

### 【ぽい】

①がくてりっぽい。②のについてっぽくっていた。⇾【っぽい】(519)

### 【ほう】

1　…ほう＜方向＞　Nのほう　Vほう①ののほうはにはがずいぶんもる。②あっちのへってみましょう。③A：どこにろうか。B：のにしようよ。④まっすぐのをてください。⑤がむほうにかってがんでった。⑥A：それで、さんはまっすぐにるとったんですね？B：ええ、そういました。でも、さんがいてったにはももないんで、おかしいなとったんです。おおよその、をす。「・・・」などのや「あっち・こっち・どっち・こちら・そちら・どちら」「・・・・・」などをすにくことがい。2　…ほう＜一方＞　Nのほう　Naなほう　A／V　ほう①A：どちらになさいますか。B：じゃ、きいほうをください。②A：いくらですか。B：こちらのいが1、あちらのが13となっております。③どちらでもあなたのおきなでです。④A：はととどちらにさしあげましょうか。B：のにおいします。⑤のからおします。⑥A：たいへんしございませんでした。B：いや、いのはこちらのです。⑦：はでなくやっているのかしら。：っておけばいいさ。かあれば、のからかってくるだろう。⑧A：パチンコで5もけちゃったよ。B：なんか、まだましなだよ。なんかけてるよ。⑨でうのもなんだがうのころはのよいだった。⑩A：はでしたね。B：ええ、のをやっております。⑪つののうちがったはさすがにがい。つあるもののをさす。⑤⑥は、しときをさせ、しのを「の／こちらの」、きのを「あなたの／そちらの」でしている。⑦の「のから」は「から」とじだが「の」と「の」をさせている。また、⑨⑩のように、ばくぜんとある、あるをすいもある。⑨は、「どちらかというとがよかった」の。⑩は、つのもののではなく、「のでのをしている」という。3　…ほう＜＞　Nのほう　Naなほう　A／V　ほう　a　…ほうが…より（も）①のほうがよりい。②いよりいがいいにまっている。③でくがでくよりだ。④イタリアヘくなら、ローマやベニスみたいなよりのがおもしろいよ。⑤スポーツはるよりでやるがきだ。⑥はむことよりくことのがしい。⑦さんよりもさんのが、ににのってくれる。⑧のけがよりもなショックのがだ。つのものをして、「…ほうが」でされるもののがいことをす。「…ほうが」と「…より（も）」はがれわって「－より（も）…のほうが」となることもある。また、かららかなには、「…ほうが」か「…よりも」のどちらかがされることがい。b　どちらのほう①A：さんとさんとでは、どちらのほうががいですか。B：さんのががいです。②A：コーヒーとと、どちらのほうがよろしいですか。B：どちらでもです。つのことがらをして、どちらかをうにいる。「のほう」をいて「どちら」だけでもかまわない。4　V－ほうがいい＜忠告＞①がすより、がすがいいとう。②そんなにがいんだったらにったほうがいいよ。③あいつとつきあうのはやめたほうがいい。④A：ときどきがむんだ。B：たいしたことはないとっても、にっておくがいいよ。⑤したばかりなんだから、あまりをしないがいいとうよ。⑥あのおしゃべりだから、さないがいいんじゃない。よいとわれることをべて、きにしてやアドバイスをするにう。の・タ・にく。をっても、をってもそれほどきないはないが、きにくめるにはタをうことがい。えば、をひいているにとかってうようなには「V－たほうがいい」がわれる。し、はに「…ない」のでいられ、「…なかったほうがいい」というはうことができない。（）あのにはさないほうがいいよ。（）あのにさなかったほうがいいよ。5　…ほうかましだ＜選択＞　Nのほうがましだ　Naなほうがましだ　A一いほうがましだ　Vほうがましだ①A：テストとレポートとどっちがいい？B：レポートのがましかな。②どうせやらなくちゃいけないなら、にくよりは、にしてづけてしまうがまだましだ。③あんなとするくらいならんだほうがましだ。④でやめるぐらいならめからやらないほうがましだ。しにとってましくないことがらをべて、「どちらかをばなければならないなら…のほうがよい」というのまないをす。「…くらいなら」をってのをすことがある。「…くらいなら」は「…より」とているが、そのことがらをしがよくないとっているというみがある。6　…ほうがよかった＜後悔＞　Nのほうがよかった　Naなほうがよかった　A／V　ほうがよかった①にまないででやったがよかった。②A：をったんだけど、う？B：えっ、ったの。いがよかったのに。③せっかくのだからとって、ドライブにたが、がしていてまったくかない。こんなことなら、ないがよかった。④しになるとがどんどんってくるようになったが、のわりにははえない。いっそ、のままのがよかった。のできごとについて、「にったことよりも、それとはのことのがだった」というしのえをべて、しのにうちやのちをす。のについてべると「」をすになり、きやののについてべるには、しのなちやがっかりしたちをすになる。(520)

### 【ほうだい】

1　R－（たい）ほうだい①のたちは、けもせずに、のをらかしにらかしてっていった。②もらないものだから、はやりたいほうだいのをらかしている。③のいはのちもえずいつもいたいだ。「やる」「する」「う」などののにいて、へのしにきなようにうことをす。しのマイナスがまれる。になに「にする」などがある。2　R－ほうだい①バイキングというのは、じでべほうだいののことだ。②≪ビアホールの≫2000でみ。③をしてからは、あんなにきだったいじりもできず、もれだ。なくにるをす。「べる・む」などのといっしょにわれることがい。また、③のように「そのことにしてにはもせずに、なるがままにせておくこと」をす。(523)

### 【ほか】

1　…ほか　a　…ほか　Nのほか］　Naなほか　A／V　ほか①のパーティーには、のほかにもおびしてある。②うちのには、さんのほかにはロシアのできるはいない。③のには、のほか、、メーカーといったのがした。④おいは、、のほか、おくのコンビニエンスストアなどでもっております。⑤っしたアパートは、ちょっとからいはだいたいりだ。⑥きょうはにでるにはにもはない。「そのことに」というをす。「ほか」「ほかに」「ほかは」などのでいる。b　Nほか①がします。②。なやもののをすのにいる。きことばなかたいで、やのをするなどによくわれる。2　ほかに（は）①A：ありがとう。かわったことはありませんでしたか。B：まちがいがかかってきただけで、ほかにはもわったことはありませんでした。②≪で≫A：かするものはありますか。B：ウイスキーが5です。A：には？B：にはべつに。③ボーイ：コーヒーでございます。にはございませんか。：のところ、にありません。「それに」のをす。3　ほかのN①さんにもうとったが、しそうなので、のにんだ。②ここがよくわかりません。ほかのところはやさしかったんですが。③A：このはすぎるね。B：そうね。ほか（の）へきましょう。④これはちょっとすぎますから、のをせてくれませんか。「としてとりあげられているもののもの、うもの」のをす。④のように、「ほかの」ので「ほかの」といういをうこともある。4　…ほかはない　V－るほかはない　a　…ほかはない①はまないが、のであるのでうほかはない。②だれもわりにってくれるがいないので、でくはない。③ももだ。このはあきらめるはない。「ましくはないがにがないのでやむをえない」というをす。きことばで、に「…ほかすべがない」「…しかがない」などもある。しことばでは「…しかない」「…ほかしかたがない」などがわれる。b　…というほかはない①なをたずににるなど、とうほかはない。②あんないところからちたのにこののけがですんだのは、だったとうはない。③にはのをもったがいるという。それがだとしたら、ただとうほかはない。「…としかいようがない」「に…だ」というをす。きことばなかたい。5　…よりほかに…ない　…よりほかは…ない①さんよりほかにれるはいない。②もにせまった。ここまでくれば、がんばるよりはない。⇾【より】3b⇾【より】3c6　ほかならない　a　Nにほかならない①のはののたまものにほかならない。②における、のさは、にするのれにほかならない。③このようながきたは、でをしてきたにほかならない。「XはYにほかならない」のでわれて、「Xはそれのものではなくて、まさにYである」「XはYのなにものでもない」というをす。きことばなかたいでのしことばにはわない。b　ほかならないN／ほかならぬN①ほかならないのみなので、きけることにしました。②ならないさんからのですから、んでおけいたしましょう。③ほかならぬのみなので、わるわけにはいかなかった。④うわさをしていたところにやってたのは、ほかならぬだった。⑤のをもたらしたのも、をもたらしたのも、ならぬである。「ほかのものではなく、まさにその」というをす。①～③は「ほかのひとならともかく」というみがあり、「しにとってになのみなのでわれない」というでよくう。④⑤はまさにそのものであることをするのにいる。「ほかならない」より「ほかならぬ」のがくいられる。(523)

### 【ほしい】しい

「ほしい」には「しい」がわれるが、「V－てほしい」はひらがなでくことのがい。1　Nがほしい①もっといがしい。②A：のプレゼントはがしい？B：そうね。しいがしいな。③の、はのユニホ－ムがしかった。④はもしくない。⑤≪≫はどうしてもがほしい。そのことをえるともねむれないぐらいだ。「にれたい」「のものにしたい」というし（のはき）のをす。「ほしい」はをすで、がいりのでわれるには①のように、しのをすか、②のようにきのをたずねるにられ、そのままでは、のをすのにはえない。のをすときは「…は…をほしがっている」「…がほしいようだ」などのをう。（）はをほしがっています。（）はがほしいです。し、⑤のように、がにできるののなどでは、にいりのでわれてもはない。また、②のようにのをたずねることはしいにられる。さがなでは「がほしいですか。」のようないはけて「はいかがですか。」のように「ほしい」をわないがよい。2　V－てほしい　a　NにV－てほしい①このには、たくさんのにてほしい。②あまりがいので、だれかにってほしいとっている。③には、いつまでもできしてほしい。④にはいつまでもきれいでいてほしい。⑤をいてへなんかかないでほしい。⑥たちにはのばかりえるようなにだけはなってほしくない。⑦A：うちのにもがあったかもしれません。Bにまで、そんなことをってしくないね。のにするしのやをす。「…してもらいたい」「そのでいてもらいたい」というで、①②のように「そのがかをしてくれること」をんだり、③④のように「そのがあるでいること・あるになること」をんだりしていることをすがある。のには、「V－ないでほしい」と「V－てほしくない」のつがある。⑤のように「V－ないでほしい」は、「…しないでください」というのとしてよくわれる（については、3）。「V－てほしくない」をうのは、⑥のようにのみをきとはなくべるや、きのとったにする⑦となる。b　…がV－てほしい①いにはもうあきあきしてきた。くがきてほしい。②くみがまってほしい。③これだけがくと、ならずともがってほしいとわないはいないだろう。④のがにわらないでほしいとうのはぜいたくでしょうか。あるがじることをんでいるというをす。がのには2aのように「Nに」でされるが、①～⑤のようにあるがじることをむには「が」でされる。3　ほしい（んだけれど）　しの・をす「Nがほしい」「V－てほしい」は、によってなとなることがある。「ほしいんですが…」「ほしいんだけど…」というようにいよどむと、がちなじがてやわらかなみになる。a　Nがほしいんですが①：すみません。これがほしいんですが。：こちらでございますか。ありがとうございます。②：これなどいかがですか。：そうねえ、もうちょっとるいのがほしいんだけど。③≪だちので≫A：がほしいんだけど。B：いいよ。ちょっとって。④≪おもちゃで≫：おさん、これほしい。：ダメ。はもいません。「あるものをにいれたい」というしのをべて、にをす。①②のように「すみません。Nがほしいんですが／ですけど」がよくわれる。b　V－てほしい（んだけれと）①：プレゼントなので、リボンをかけてほしいんですが。：はい、おちください。②A：はくってきてほしいんだけど。B：うん、わかった。③A：さんにのをえてあげてほしいんですが。B：ああ、いいですよ。④あしたはかけないでほしいんだけど。⑤にこのをやってほしいんだが。⑥にはにってほしい。「きにあるをしてもらいたい」というしのをべて、にをす。「しないこと」をするには、④のように「V－ないでほしい」のをう。⑤⑥はがうで、なじがする。4　V－させてほしい（んだけれと）①A：ませてほしいんですけど。B：ああ、いいよ。②このはぽくにせてほしいんだけど。③にかせてほしいんですが。「（に）Vさせてほしいんですが／けれど」ので、しがこれからうについてをめるとしてわれる。(526)

### 【ほしがる】しがる

Nをほしがる①さんはしいをしがっている。②がしがっているのはののではなくて、のぬいぐるみだ。③のをしがってはいけない。④まだだったは、のをひきたいばかりに、わざとのおもちゃをほしがってみせた。「ほしい」というちをやでにしているをべるにいる。しについてわれるのがで、しのについては「…がほしい」をう。しかし、④のように、のとはなくそのようなをしてみせたなどにはしのについても「ほしがる」がわれる。(528)

### 【ほど】

1　＋ほど＜＞①を10CCほどれてください。②にはほどかかります。③するまでに3ほどかかります。④はまだほどっている。⑤A：りんごください。B：いくつですか。A：つほど。をすにいて、だいたいの（）をす。のさ、などのをすときにもうことがる。しかし、やなど、さをたないにはえない。そのは「ごろ」をう。（）3ほどてさい。（）3ごろてさい。⑤は、ので「つください」とはわらない。はっきり「つ」とわずにをすことできにのをしたとなり、やわらかなじをえる。をす「ほど」は「くらい」や「ぐらい」にいかえることができる。2　…ほど…ない＜＞　Nほど…ない　Vほど…ない　a　…ほど…ない①のはほどくない。②はっていたほどしくなかった。③のはそばでみているほどではない。④はほどなではない。⑤このはほどは、がんでいない。「XはYほど…ない」ので、Yをとしてえて、XはYであるというをす。えば「XはYほどきくない」は「XはYよりさい」ということになる。ただし、「XはYより…」がにをしているにぎないのにして、「XはYほど…ない」のをったには、「XもYも…であるが、そのですると」というをむことがある。えば、①のでは「のもいが、よりましだ」というみをもつ。b　…ほど…Nはない①ほどいやなものはない。②いろんながにしてさいましたが、あなたほどになってさったはにありません。③ほどのいところはない。④これほどすばらしいはにありません。⑤さんほどよくするはいない。⑥にたれることほどつらいことはない。「にぶものがない」ことをべて、「…ほど」でされたもののがいことをす。①は「はのよりもいやなものだ」、②は「あなたがにしてくれた」というになる。3　…ほど＜＞　a　…ほど　Nほど　A－いほど　V－るほど①このはおもしろいほどよくれる。②もたくないほどきらいだ。③はぬほどれた。④そのニュースをきいて、はびがるほどいた。⑤をがになるほどきったが、していたはつからなかった。⑥のでは、にのほどのがあるという。⑦それほどうなら、きなようにすればいい。⑧なんのもしてこないから、どれほどしたかわからない。やがどれぐらいかというを、やなをってすのにう。「これ／それ／あれ／どれ」に「ほど」がいたときは「こんなに／そんなに／あんなに／どんなに」のとなる。b　…ほどだ　Naなほどだ　A／V　ほどだ①ずいぶんになって、なんかににでかけたほどです。②はがたいへんいだ。にがいれば、わざわざりするほどだ。③コンサートはたいへんなで、ちがでるほどだった。④このシャツはやすいしもいので、とてもにっている。いで3もっているほどだ。⑤ののぶりは、ともえるほどだ。にべられたことがらについて、にをげて、どのかするのにう。c　…ほどの…ではない　…ほどのNではない　…ほどの　こと／もの　ではない①にくはどのけがではない。②そんなににむほどのではない。③そんなにるほどのことではない。④かにそうなだが、20もすほどのものではない。「…よりのいものである」というをす。たいしたことではない、なではないというみがある。d　…というほどではない　N／Na　というほどではない　A／V　というほどではない①はきだが、まないではいられないというほどじゃない。②はししましたが、ができるというほどではありません。③からをくしているが、をしなければいけないというほどではない。④A：ったんだって？B：いや、というほどじゃないけれど。わりといいなんだ。がそれほどくないことをす。にべられたことから、にされることがらをりげて、そんなにはがくないことをするようなにう。4　…ほど＜＞　a　…ほど　N／Na　ほど　A－いほど　V－るほど①をとるほどがくなる。②のワインは、くなるほどうまくなる。③にいほどはくなる。④へくほどくなる。⑤まじめなほどストレスがたまる。⑥にがあるほど、になかなかづかないことがい。⑦うほどに、はにぎやかになっていった。「…ほど」でされたことがらのがくなるにつれて、もうもがくなるというにう。①は、「をとるとだんだんがくなる」、②は「ワインはくなるともっとうまくなる」という。①～④のように、「…ほど…Naに／A－く／V－ようになる」のでわれて、なことがらをすことがい。⑦の「…ほどに」は、きことばな。よくたに「…につれて」「…ば…ほど」がある。b…ば…ほど　N／Na　であればあるほど　A－ければA－いほど　V－ばV－るほど①べればべるほどる。②A：どれぐらいのごですか。B：（ければ）いほどいいんですが。③でなであればあるほど、をにえるようなはつまらなくじるのだろう。④というのは、くなればなるほど、いにくくなる。⑤どうしたらいいのか、えればえるほどわからなくなってしまった。⑥ろうとすればするほどがえてくる。⑦このは、めばむほどわからなくなる。じをくりしてい、ひとつのことがらのにってのことがらもすることをす。「…ば」でされることにしてもうひとつのことがらもじようにするというだが、④～⑦のように、にされるのとはのをすにもわれる。(528)

### 【ほどなく】

V－てほどなく　V－るとほどなく①がくなってほどなくもくなった。②とにがとされてほどなく、はした。③しいがすると、ほどなくでへのがまった。④Zがパソコンをげすると、ほどなくもそれにしてげをめた。つのがこってからあまりいがたたないうちに、という。のことをべるのにわれる。きことばでかたい。「ほどなくして」ともう。(532)

### 【ほとんど】

1　ほとんど①このはほとんどんでしまった。②のなにはほとんどいったことがある。③しいビルは、ほとんどしている。④ほどのなら、はほとんどだ。⑤のスポーツクラブにってみたら、ほとんどがのだったのにはいた。⑥このクラスのほとんどが、アジアからのだ。「だいたい」「おおかた」のをす。をして、①～③のように、「ではないが、にいこと」や、④のように「100％にいこと」をす。また、⑤⑥のように、「（Nの）ほとんどが」のでわれて、「のうちでが」というでわれる。2　ほとんど…ない①でほとんどがない。②ははほとんどまない。③はほとんどめない。④このをでげるのは、ほとんどにい。⑤このごろはしくて、あれほどきだったテニスにも、ほとんどっていない。⑥でこそだが、10ほどには、のをっているは、ほとんどいなかった。⑦ほとんどまずわずで、きけた。⑧してめには、もほとんどなくなった。たいへんがない、あるいはがいというをす。3　ほとんど…た　ほとんどV－るところだった　ほとんどR－かけた①の、チフスでほとんどにかけたことがある。②からびしてきたとほとんどぶつかるところだった。③は、ほとんどうまくいきかけたのだが、くがしてしまい、それからはいこときだった。「もうしというところで、そうなるところだったが、にはならなかった」という。①～②のように、「ないところをかった」というにうことがい。(532)